



2024年5月9日

各位

会社名 株式会社クラダシ  
代表者名 代表取締役社長 関藤 竜也  
(コード番号：5884 東証グロース市場)  
取締役執行役員 CFO 高杉 慧  
コーポレート本部長  
TEL. 03-6456-2296

### 通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年8月10日に公表しました2024年6月期（2023年7月1日～2024年6月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

また、業績予想の下方修正における経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（2023年7月1日～2024年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,500	百万円 45	百万円 45	百万円 80	円 銭 7.44
今回修正予想（B）	2,921	24	26	16	1.55
増減額（B-A）	△578	△20	△18	△63	
増減率（％）	△16.5	△45.7	△40.9	△79.1	
（参考）前期実績 （23年6月期）	2,910	△164	△171	△167	△17.40

#### 2. 修正の理由

（業績予想の修正の理由について）

2023年8月10日に公表しました2024年6月期の業績予想において、日本国内における食品値上げによる外部環境の変化が見込まれる環境下において、当該外部環境の変化が負に働くビジネス環境が第1四半期まで続き、第2四半期途中から回復すると見込み、業績予想数値を公表いたしました。

食品値上げは数か月前に事前告知されることから、告知後に小売企業各社が値上げ前価格での在庫確保に動き、供給元である弊社の主なパートナー企業のメーカーや卸売企業はそのタイミングで余剰在庫が圧縮されるため、フードロス品の当社への案内が一時的に減少し、当社業績に悪影響があることを見込んでおりました。

しかしながら、当該外部環境の変化による悪影響が想定よりも大きく、また、回復タイミングが想定よりも遅かったことに加え、第2四半期以降に市況の回復傾向はあったものの、第3四半期において市況が想定水準までは回復せず、通期業績予想水準を下回る着地となりました。

直近の業績動向を勘案し、第4四半期の売上見通しを精査した結果、通期業績予想の下方修正を行うことといたしました。

（売上高について）

当社は、「Kuradashi」運営事業の単一セグメントであります。

具体的には、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」において、ECサイトを通じて消費者に商品の販売をしております、その他のサービスとして、パートナー企業のブランディングを支援するサービ

ス「Kuradashi Stores」及び商業施設にて期間限定のポップアップストア「Kuradashi Hub」を運営しております。

売上高の業績予想数値は以下の通り、算出しております。

#### ① ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」

売上高は、月間UU及びARPPUを月別に見積り、これらに乗じて算出しております。

月間UUは、会員数にアクティブ率を乗じて算出しております。月間UUは、第1四半期においては食品値上げの影響を折り込み、第2四半期以降の市況回復後は2022年6月期以降から市況悪化前までの一定水準の通増率トレンドに戻るとの前提のもと設定いたしました。しかしながら、市況が想定水準まで回復せずパートナー企業から供給される商品ラインナップの想定通りの拡充が出来ず、結果として月間UUの成長が想定を下回る見込みとなりました。

ARPPUは、購入単価に購入回数に乗じて算定しております。購入単価及び購入回数は安定的に推移しており、2023年6月期以降もこのトレンドは継続するとこの前提のもと設定しており、業績予想値からの重要な差異は生じておりません。

#### ② 「Kuradashi Stores」及び「Kuradashi Hub」

売上高は、過去実績に直近の受注見込みを考慮し算出しており、業績予想値からの重要な差異は生じておりません。

(営業利益、経常利益及び当期純利益について)

営業利益、経常利益については、主に売上高が当初計画を下回ることを主要因に、下方修正いたしました。

限界利益率は、販促活動や物流費の適切なコントロールにより、安定した水準を維持しております。また、固定費は、広告宣伝費の効率的な投下や一人当たり生産性の向上による人件費のコントロールを行っております。

しかしながら、売上高が当初計画を下回ることにより限界利益額が当初計画を下回ることによる要因とし、下方修正いたしました。

また、当期純利益については、上記に加え、足元の業績動向を勘案の上、繰延税金資産の回収可能性を再検討した結果も折り込んでおります。

### 3. 今後の方針

基幹事業であるECの成長率は、当初計画を下回る実績となる見込みではありますが、食品値上げ等の厳しい外部環境下においても、対前年同期比較ではプラスの成長を見込んでおります。当第2四半期以降、市況は着実に回復傾向であり、引き続きパートナー企業との取引深耕やCRM施策の実施による拡販を図って参ります。

また、EC事業で培ったノウハウを活かし、サプライチェーン・バリューチェーンにおける機能拡張や新規事業やM&Aなどによる事業の加速・非連続の成長を遂げることを目指して参ります。

成長戦略については、本日公表いたしました「2024年6月期 第3四半期 決算説明資料」も併せてご参照ください。

#### 4. 役員報酬の減額について

業績予想の下方修正の内容を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下の通り役員報酬を減額することを、取締役会で決議いたしましたので、お知らせいたします。

##### (1) 役員報酬減額の内容

代表取締役社長	月額固定報酬の50%を減額
常勤取締役	月額固定報酬の30%を減額

##### (2) 対象期間

2024年4月～2024年6月(3ヶ月間)

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上